

令和8年度 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施概要について

1 趣旨・目的等

- 京都市独自の教材開発、学習システムを構築し、小・中学校の連携を進める中で、継続して子どもたちの学習意欲を高め、義務教育一貫した学力の積み上げに取り組む。
- 児童生徒が自己の学習状況を定期的に確認することを通して、学習の改善及び一人一人の確かな学力の向上を図る。
- 個別・詳細な資料をもとに、授業改善・指導力向上を図る。
- 同趣旨のもとで、発達段階に応じた効果的な実施方法を検討する。

2 実施学年・教科

※実施時期及び実施回数については、一部変更の可能性がある。

(1) 「プレジョイントプログラム」 (小学校4年生)

- 実施学年：小4 (1月)
- 実施教科：国語、社会、算数、理科

(2) 「ジョイントプログラム」 (小学校5・6年生及び中学校1年生)

- 実施学年：小5 (8～9、1月)、小6 (8～9、1月)、中1 (4月)
- 実施教科：国語、社会 (1月のみ)、算数、理科 (1月のみ)

(3) 「学習確認プログラム」 (中学校1～3年生)

- 実施学年：中1 (10、1月)、中2 (6～7、10、1月)、中3 (5、10月)
- 実施教科：国語、社会、数学、理科、英語

3 実施方法

- 各校ほぼ同時期に実施する。
- 学習の定着状況の確認はテスト形式 (1教科当たり中学校45分・小学校40分) で行う。
- 小学校4年生の児童には、出題計画表、学習確認問題、解答解説、学習状況資料 (個人成績)などを配布する。
- 小学校5～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒には、年間出題計画表、教科別年間出題計画、各回の出題範囲・予習教材、学習確認問題、解答解説・自己診断シート、学習状況資料 (個人成績)、復習教材などを配布する。
- 学校用のデータ資料 (アンケート結果含む)を作成する。
- 各種資料の内容・様式等は別途検討する。

4 作問方法

小・中学校教育研究会が委託機関との連携のもとで作成する。

5 データ処理

委託機関が採点、集計・分析を行い、採点結果と学習状況資料等を各学校に送付する。
学習状況資料 (個人成績) には、当該学年以前の確認テスト結果を反映させる。

6 実施児童生徒数（予定）

小学校・小中学校前期課程及び希望する総合支援学校の小学部：4年生約9,100人
5年生約9,400人
6年生約9,300人

中学校・小中学校後期課程及び希望する総合支援学校の中学部：各学年約9,000人

※実施児童生徒数については、実際の実施人数により増減します。

7 予定価格

総額を174,115,800円（消費税及び地方消費税相当額含む）とする。

ただし、各ステージとも1回あたりの単価を設定し、以下のとおり各回の単価×実施児童生徒数によって積算される経費及び（4）の経費の総額を予定価格とする（消費税及び地方消費税相当額含む）。

※令和8年度の事業方針により、予定価格及び実施回数が変更となる可能性があります。

（1）プレジョイントプログラム

ア 令和8年度4年生 1人あたり1,232円（総額 11,211,200円）

（2）ジョイントプログラム

ア 令和7年度第5回 1人あたり 515円（総額 4,635,000円）

イ 令和8年度第1回 1人あたり1,032円（総額 9,700,800円）

ウ 令和8年度第2回 1人あたり1,032円（総額 9,700,800円）

エ 令和8年度第3回 1人あたり1,032円（総額 9,597,600円）

オ 令和8年度第4回 1人あたり1,032円（総額 9,597,600円）

カ 令和8年度第5回 1人あたり 517円（総額 4,653,000円）

（3）学習確認プログラム

ア ベイシックステージ1 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

イ ベイシックステージ2 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

ウ プレステージ1 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

エ プレステージ2 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

オ プレステージ3 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

カ 第1ステージ 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

キ 第2ステージ 1人あたり1,793円（総額 16,137,000円）

（4）重要関連事項

全回の学力検査問題冊子の「ルビ振り版」提供等に係る経費 2,060,800円